

令和8年度全国学力・学習状況調査について ～結果及び今後の取組について～

全国学力・学習状況調査(全学調)の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

【調査対象】

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年

【調査内容】

①教科に関する調査(小学校:国語・算数、中学校:国語・数学・英語)

※中学校英語・生徒質問調査は、文部科学省C B Tシステム(ME X C B T)によるオンライン方式(C B T:Computer Based Testing)で実施

②質問調査(児童生徒に対する調査、学校に対する調査)

国語・数学・生徒質問調査:令和8年4月23日に実施

英語「読むこと」「書くこと」「聞くこと」:4月20日～23日のうち1日(本校4月23日)に実施

英語「話すこと」:4月24日～5月29日のうち1日(本校4月28日)に実施

～文部科学省「令和8年度全国学力・学習状況調査リーフレット」より～



『主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する生徒の育成』
「自分で考え、よりよく行動できる生徒」を「考動」

西合志南中学校
学校通信
令和8年10月2日
第6号
発行責任者
角田 賢治
アクト さくら

本校における調査の結果(教科及び生徒質問調査の概要)

【国語】

○全体の結果は全国平均をやや下回るが、県平均とほぼ同じである。

【数学】

○全体の結果は全国平均をやや下回るが、県平均をやや上回っている。

【英語】

○全体の結果は全国平均とほぼ同じであり、県平均を上回っている。



【質問調査】

◎県平均・全国平均を上回っていた主な項目

○数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていた。数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。

○英語の勉強は得意である。

○毎日同じくらいの時間に寝ている。

◎県平均・全国平均を下回っていた主な項目

●授業で、キーボードを使って英語を書く活動を行うこと。

●授業で、P C・タブレットなどのI C T機器を使用した程度。

●自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表すること。



調査の結果を踏まえ、本校では下記のように課題改善に向けて対応していきます。

引き続き、生徒の学力向上に向けて取り組みますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

- 引き続き**学習規律**を整え、生徒の実態を把握するとともに**単元終了時の姿を意識した学びへの意欲を引き出す授業づくり**を行っていきます。
- 授業の中で、自分の考えが深まったり、広がったりする「**学び合い**」の場の設定を行っていきます。**教科書を正しく読み解く力**を育成していきます。
- I C T**を効果的に活用した学習活動の充実を図っていきます。

学校 HP へは二次元コードをクリックでアクセスできます。→

